

# 第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算に関する件

## I. 2021年度事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

### 1. 事業概況

#### 1) 概要

「2021年の我が国経済は、2020年に続いて新型コロナウイルス感染症の動向に大きな影響を受けた。9月末までの緊急事態宣言等に伴う行動宣言や自粛による経済社会活動の抑制により、個人消費は一進一退の動きが続いた」と内閣府は公表している。このような中で、2021年度の新設住宅着工戸数は86万6千戸と前年度対比6.6%の増加となったが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により2019年度に比べ8.1%程着工が減少していたため、2019年度と比較してみると2.0%の減少となり感染拡大前の水準に回復するまでは至らなかった。

ツーバイフォー住宅については、着工戸数が9万6千戸と前年度対比7.7%の増加、2019年度比では10.1%の減少、全住宅に占めるシェアは11.1%で、近年減少傾向にあったが、2019年度11.0%からはほぼ横ばいとなった。また、住宅用途以外のツーバイフォー施設系建築については、2021年度ツーバイフォー建築自主統計調査（2020年度着工実績のアンケート調査）によると、医療施設等で伸びを示し着工件数が前年度に比べ10.5%増加した。

こうした中、当協会では、ツーバイフォー工法のさらなる進化及び普及を図るため、以下の技術開発、情報発信、技能者育成等を積極的に推進した。

- (1) ツーバイフォー工法本来の利点である合理的な生産・施工システムをさらに進化させるため、「構造躯体生産施工合理化委員会」を新たに設け、壁・床・屋根パネルの設計・生産・施工の合理化および標準化を目標に定め各試験を開始
- (2) 省エネルギー技術、大規模建築の木造化促進のための構造・防火関係規定等の法改正に対応するため、「リフォーム・カーボンニュートラル分科会」及び「構造・防火法令対応分科会」を設置し活動を開始
- (3) 消費者のツーバイフォー工法に対する認知度向上を図るため、ホームページにおける建築事例紹介を充実させるとともに、映像コンテンツ「ツーバイフォー工法のご案内」をYouTube等にて配信
- (4) 新たな在留資格制度「特定技能」について、コロナ禍で外国での試験が実施できないことを補完するため国内での試験実施に向けた準備の実施
- (5) 工法普及・ステップアップ・資格取得講習会等のすべての講習会について会場参加型とリモート参加型の受講スタイルを設定

(6) ツーバイフォー工法の構造用製材の急激な価格高騰、住宅用設備等の供給不足等に  
関連した最新情報の収集を行い、会報誌、メールマガジン等にて情報発信を行った。

また、感染症等による住宅市場の低迷に対する支援策について、(一社)住宅生産団体  
連合会等と連携して要請活動を実施し、その結果、住宅の環境性能等に応じた優遇措置  
が高い水準で講じられた住宅ローン減税制度の再スタートや「こどもみらい住宅支援事  
業の創設」などの支援策が打ち出された。

## 2) 総会・理事会

### (1) 総 会

2021年6月17日の定時社員総会は、新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止の  
ため、極力、議決権行使書等の書面の提出を会員に依頼して小規模に開催され、2020  
年度事業報告及び収支決算、2021年度事業計画及び収支予算並びに役員の選任につい  
て審議がなされ、いずれも原案どおり承認決議された。

### (2) 理 事 会

理事会は4回開催され、以下の事項が決議、報告された。

イ. 2021年5月28日理事会

2020年度事業報告及び収支決算に関する件、役員候補者の選任に関する件等が決  
議された。

ロ. 2021年6月17日理事会

会長・副会長・専務理事の選任に関する件が決議された。

ハ. 2021年11月26日理事会

東海支部と静岡県支部の統合に関する件等が決議され、代表理事及び業務執行理  
事の職務執行状況等が報告された。

ニ. 2022年3月17日理事会

2022年度事業計画及び収支予算に関する件、定款細則、部会規則及び委員会規則  
改定の件、就業規則改定の件、在宅勤務規程及び育児・介護休業規程制定の件等が  
決議され、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況等が報告された。

## 3) 支部長会議・企画委員会

### (1) 支部長会議

支部長会議は会長、副会長も参加して3回開催された。

イ. 2021年5月28日の支部長会議においては、2021年度講習会実施計画及び実施状  
況、支部の活動計画等についての報告、意見交換が行われた。

ロ. 2021年11月26日の支部長会議においては、2020年度エリア別着工動向、各支部  
エリアの住宅市場動向等についての報告、意見交換が行われた。

ハ. 2022年3月17日の支部長会議においては、各支部の2021年度事業の実施報告、次年度の事業計画等についての報告、意見交換が行われた。

## (2) 企画委員会

企画委員会は6回開催され、会員の入退会や事業報告及び収支決算、事業計画及び収支予算、優秀プレーマーの表彰等について審議された。

## 4) 会員数の推移

会員の種類・区分	2021年度末	2020年度末	増(+)、減(△)
一種A正会員	17	15	+2
一種B正会員	38	40	△2
一種C正会員	104	106	△2
一種D正会員	281	294	△13
(小計)	440	455	△15
二種A正会員	22	23	△1
二種B正会員	5	6	△1
二種C正会員	92	93	△1
(小計)	119	122	△3
三種A正会員	0	0	0
三種B正会員	1	1	0
三種C正会員	164	177	△13
(小計)	165	178	△13
賛助会員	28	30	△2
合計	752	785	△33
特別会員	55	13	+42

## 2. 本部事業

### 1) 総務・工法普及に関する事業

#### (1) 会員への情報発信

ホームページ、メールマガジン、会報誌のそれぞれの特性を生かしつつ、適時適切な情報発信に努めた。メールマガジンは月に2回定期配信するとともに、機動的な情報提供のために臨時便を発信し、国土交通省等の補助事業の公募開始、住宅用木材の価格高騰・不足、家庭用給湯器の供給遅延への対応及び「こどもみらい住宅支援事業」の創設等についてお知らせした（計12回臨時便発信）。また、ホームページは全面的にリニューアルを行い、会員による情報の検索等を行いやすくするとともに、「協会からのお知らせ」等の更新業務を内製化し、よりタイムリーな情報発信に努めたほか、協会への入会を促進するための改訂も行った。

会報誌においては、戸建住宅・リフォーム・施設系建築の最新事例紹介に努めるとともに、世界の木材市場の動向と展望、ツーバイフォー工法建築物の生産・施工の合理化、歴史的ツーバイフォー建築物紹介等の特集記事を掲載した。

#### (2) 消費者等への広報活動の推進

- ① 消費者のツーバイフォー工法に対する認知度向上を図るため、ツーバイフォー戸建て住宅事例やリフォーム事例等のホームページにおける紹介の充実を図るとともに、映像コンテンツ「ツーバイフォー工法のご案内」をホームページ及びYouTubeにて配信した。
- ② 映像コンテンツで使用したキャラクター「ツーバイ君」が説明する方式でリーフレット「ツーバイフォーの基礎知識」を制作・販売し、会員を通じての工法認知度向上を図った。また、本キャラクターを会員が自社の広報パンフレット等で使用できるようにするため、「ツーバイ君」の商標登録を出願した。

#### (3) 渉外活動

- ① (一社)住宅生産団体連合会と連携し、住宅・土地関連施策等について要望活動を行った。その結果、住宅の環境性能等に応じた住宅ローン減税制度の見直しや「こどもみらい住宅支援制度」の創設等の措置が講じられた。
- ② 住宅生産団体連合会の各種委員会等への参画により、最新の住宅関連情報等の収集を行い、協会の各関係委員会で報告協議するとともに、随時メールマガジン等を通じて会員に情報発信を行った。

#### (4) 総務関連事業の遂行

- ① 住生活月間功労者及び優秀施工者国土交通大臣顕彰の推薦を行い、功労者を1名が、大臣顕彰を3名が受賞した。
- ② 会員が着工したツーバイフォー住宅及び施設系建築に関するアンケート調査を行

い、「2021年度ツーバイフォー建築自主統計調査」として取りまとめ、会報誌及びホームページにて紹介した。

- ③ 人事関連の法令改定や勤務形態の変化等に対応し、「在宅勤務規程」「育児・介護休業規程」の制定案と「就業規則」の改定案を作成し、3月の理事会にて承認を得て、4月1日より施行することとした。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、6月の定時社員総会は事前に議決権行使書等の書面提出を会員に依頼して小規模に開催した。また、YouTubeを利用し総会の模様を同時配信した。
- ⑤ 当協会の部会及び委員会活動について、各種検討及び意思決定のより一層の迅速化と情報共有体制の一元化を図るため、部会・委員会等の構成について見直しを行うとともに、各委員会の所掌事務の明確化を行った。

## 2) 技術の普及に関する事業

### (1) 生産・施工システムの合理化に向けた検討

ツーバイフォー工法本来の利点である合理的な生産・施工システムをさらに進化させるため、構造躯体生産施工合理化委員会（特別委員会）を設置し、壁・床・屋根パネルの設計・生産・施工の合理化および標準化を目標に定め、壁パネルの突き合わせ接合の耐力確認試験を実施した。なお、本事業は国土交通省補助事業である建築生産性向上促進事業（住宅生産技術イノベーション促進事業）の採択を得て今後2か年にわたり実施することとしている。

### (2) ツーバイフォー工法による中高層・施設系建築の促進

公共建築、施設系の耐火建築物の遮音性能について、実性能を計測し資料化する目的で「遮音測定分科会」を設置した。界壁の遮音性能確認試験を試験場で行い、耐火建築物実物件の床遮音、界壁遮音性能測定を実施した。

中高層・施設系建築物（4～6階建て）にて合理化される予定の構造計算方法普及のための準備を進めた。

### (3) 最新の技術の普及

- ① 2020年度に取りまとめた75分間準耐火構造（防火地域、3階建て以下、200㎡以下の住宅）に関する技術指針の普及を図るために講習会を実施した。
- ② 2020年度までに準耐火構造大臣認定及び構造評定を取得したNLTについて、今年度は補足実験を実施し結果の取りまとめを行うとともに、来年度講習会開催に向けて準備を進めた。

### 3) 技術基準の整備等に関する事業

#### (1) 技術基準等の整備

2月に社会資本整備審議会から国土交通省へ答申された「今後の住宅・建築物の省エネルギー対策及び建築基準制度のあり方」の内容から予定される省エネルギー技術、大規模建築の木造化促進のための構造・防火関係規定等の改正に対応するため、「リフォーム・カーボンニュートラル分科会」及び「構造・防火法令対応分科会」を設置した。

### 4) 設計・施工の品質向上等に関する事業

#### (1) 技能者の育成等支援

- ① 大工技能者育成を助成する目的で優秀プレーマーの表彰を実施した。また、国家資格である「枠組壁建築技能士」については、受検者の減少によって厚労省で廃止の検討がなされたが、今後の技能者確保にとっての必要性を訴え、隔年の試験実施として継続されることとなった。
- ② 建設キャリアアップシステムについて、引き続き会員会社と連携を取りながら、カードリーダー設置不要等、戸建住宅建設現場への対応が可能となるようシステムの改善について国交省に働きかけを行い、技能者の携帯電話やスマートフォンで簡単にシステムへの就業履歴の蓄積が可能となること等が実現した。
- ③ 新たな在留資格制度「特定技能」について、建築大工職種の推進団体として活動し、コロナ禍で外国での試験が実施できないことを補完するため、国内での試験実施に向けた準備を行った。また、会員の下請事業者が建築大工業務等に従事する特定技能外国人を円滑に受け入れることができるよう、特定技能外国人受入れ特別会員制度を推進した。

#### (2) リフォーム事業の推進

- ① ツーバイフォー住宅のメンテナンスに関するツール発行について、ストック活用委員会にて検討を実施し、関連団体発行のメンテナンスガイドを活用することとした。
- ② エンドユーザー向けの「ツーバイフォー リフォーム事例集」の活用促進に努めた。

#### (3) 労働安全衛生活動の推進

- ① 労働災害撲滅を目指し、労働災害発生状況報告書の作成、公開を行った。
- ② 安全ポスターの制作・頒布を実施した。

#### (4) 国際的活動による情報収集・発信

2021年開催の中高層木造建築物の発展を目指す国際的イベントである「WOODRISE 2021 KYOTO」において、関西支部等の協力のもと、ツーバイフォー部材やNLT試作品の展示等を行いツーバイフォー工法の普及に努めた。また、2022年5月に東京で開

催される「WOODRISE 2021 BUSINESS SESSION」の情報収集を行った。

## 5) 環境対策に関する事業

### (1) 省エネ対策等の推進

2021～2025年度の「第四次環境行動計画」をホームページに掲載した。また、カーボンニュートラルや改正建築物省エネ法、グリーン住宅ポイント制度等に関する会員への情報提供に努めた。

### (2) 廃棄物適正処理の普及・啓発

廃棄物適正処理、石綿含有建材及び太陽電池の適切な廃棄・処理等に関する最新情報の収集及び発信に努めた。

### (3) クリーンウッド法への対応

クリーンウッド法の運用等に関する情報収集と情報提供に努めた。

## 6) 部資材に関する事業

### (1) 関連部資材の情報発信と地域材活用の推進

- ① ツーバイフォー工法の構造用製材の急激な価格高騰、住宅用設備等の供給不足等に関連した最新情報の収集を行い、会報誌、メールマガジン等にて情報発信を行った。
- ② 協会ホームページにおいて、会員会社の最新部資材を紹介する「部資材ホットリンク」や全国のコンポーネント会社を紹介する「コンポーネント会社情報」の更新を継続実施した。

## 7) 瑕疵保証に関する事業

住宅瑕疵担保責任における特定団体住宅保険のメリットに関する情報発信を行い、団体保険利用会員の増加に努めた。また、瑕疵保険団体検査員講習会を東京、静岡、名古屋、大阪、福岡にて実施するとともに、全国対象にWEB参加型の講習会を実施した。また、団体検査員の監査を実施した。

## 8) 講習会等に関する事業

工法普及講習会、ステップアップ講習会、資格登録講習会及びWebセミナーを引き続き実施するとともに、すべての講習会について原則として会場参加型とリモート参加型の受講スタイルを選んで受講できるようにした。

企画講習会として75分間準耐火設計施工講習会を開催した。また、枠組壁建築技能士の資格取得のための大工育成講習会、ツーバイフォーへの次世代の若者の知識・興味を

喚起する学生向けの講習会等を本部と支部との連携のもと対象者のニーズをとらえつつ開催した。

#### イ. 企画講習会

耐火設計講習会受講者の会員を対象に、新たに「75分間準耐火設計講習会」を「WEB参加型」で1回開催した。

#### ロ. 工法普及講習会

ツーバイフォー工法の特徴やその設計・施工の基礎知識について、新入社員をはじめとする幅広い方々に学んでいただく基本セミナーや設計施工講習会を開催した。基本セミナーを3回、設計施工講習会を2回開催した。

#### ハ. ステップアップ講習会

実務に携わる技術者・技能者がその職務経験・能力に応じテーマ別に専門的スキルの習得と向上を目指していただく講習会を開催した。

- ・設計系講習会を8回開催
- ・施工系講習会を3回開催

#### ニ. 資格取得講習会

ツーバイフォー工法の設計・施工に係る品質確保を的確に図るために、枠組壁工法耐火建築物設計者(耐火設計者)、自主工事検査員、耐火構造検査員、瑕疵保険の団体検査員の各資格を取得・登録するための講習会を開催した。2021年度より、自主工事検査員講習を、工事監理履行補助者講習と位置づけ、受講修了書を発行している。また、耐火構造検査員講習においては、新たに現場検査の手引きを作成し、講習内容を充実させた。

- ・耐火建築物設計者講習会を「WEB参加型」併用で5回開催
- ・検査員登録講習会を「WEB参加型」併用で4回開催

#### ホ. Webセミナー

YouTube を利用し、受講場所や日程の制約を受けることなくツーバイフォー工法の構造設計に関する知識・技術を習得できるセミナーを引き続き開催した。

- ・構造系の3講習を毎月開催

#### ヘ. 学生向けプログラム

建築を学ぶ学生等にツーバイフォー工法や関連企業の活動について興味と知識を持っていただくために、大学等の関係学科の協力を得て、出前講座等を開催した。

- ・関東学院大学 建築・環境学部において出前講座を1回実施
- ・昭和女子大学 環境デザイン学部において出前講座を2回実施
- ・小山工業高等専門学校 建築学科において出前講座を1回実施
- ・東洋大学 理工学部建築学科において出前講座を2講座(同日)実施

### 3. 支部事業

#### 1) 北海道支部

##### (1) 活動概要

2021年度、前年度に続き新型コロナウイルス感染終息が見えず、接触を伴う集まり、各セミナー、講習会が実施出来ず、予定した支部活動は行えない状況となり活動としては工法普及と協会（支部）活動のPRに向けての事業に注力した。

##### (2) 支部総会・新年会開催

###### ① 支部総会

- ・2021年第9回定時支部総会

※新型コロナウイルス感染拡大により中止、書面決議

###### ② 新年賀詞交歓会

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催中止

##### (3) 支部会員の推移

会員の種類	2020年度末	2021年度末	増減
正会員	42	42	±0
賛助会員	17	17	±0
計	59	59	±0

##### (4) 本部・支部会合

- ① 理事会・支部長会議：2021年5月28日（WEB出席）、11月26日、2022年3月17日（WEB出席）
- ② 正副会長会議：2021年1月12日（WEB出席）
- ③ 本部定時総会：出席せず
- ④ 企画委員会：2021年9月17日、11月19日、2022年1月21日、3月14日（すべてWEB出席）
- ⑤ 支部実務者会議：開催無し
- ⑥ 支部会合（幹事会）：2021年4月23日、10月15日（WEB開催）
- ⑦ その他（国産材拡大に向けた情報交換会）：2022年2月4日、3月4日（WEB出席）

##### (5) 総務・広報活動に関する事業

関係団体及び行政機関への協力等

##### (6) 広報普及活動に関する事業

各ブロックの動き

###### ① 旭川ブロック

- ・新聞広告（北海道新聞、2021年10月24日）

② 帯広ブロック

- ・第31期通常総会 書面にて決議
- ・新聞広告

③ 釧路ブロック

- ・新聞広告（北海道新聞、2021年10月24日）

④ 北網ブロック

- ・役員会・総会・懇親会（2021年7月15日）
- ・役員会・懇親会（2021年11月26日）

⑤ 函館ブロック

- ・総会 持ち回りにて承認（2021年5月）
- ・会員会社現場見学会（2021年8月）
- ・オフィシャルホームページ 各種告知

(7) インターンシップ受入れ

北海道立札幌高等技術専門学校 ※2021年度は受入要請無し

(8) 広報PR活動

- ・2021年5月：「住まいの税金ガイド」（2021年度版）を正会員へ無償配布
- ・2022年3月：北海道新聞発行「北海道発 ONLY ONE の家づくり」支部広告掲載  
※会員へ無償配布

(9) 関係機関対応

特に無し

(10) 講習会事業

実施せず

(11) 枠組壁建築技能検定実技試験

- ・2021年度枠組壁建築技能検定について  
※9月3日 札幌 職業能力開発協会にて実技試験実施  
※合格者2名（1名 前年度一部合格者含む）

2) 東北支部

(1) 活動概要

多くの会員の技術力向上を図り、ツーバイフォー工法の普及につなげるよう努めた。

(2) 支部重点課題

コロナ禍が続くことが予想されるため、支部活動を控えざるを得ない。  
そこで、新規および現会員の支部年会費を無料とし、会員の負担を軽減した。

### (3) 総務・広報に関する事業

- ① 東北支部ホームページを活用し、会員会社情報を提供した。
- ② 関連会社様入会のための情報収集を行い、入会を促進した。(DM等の案内を送付)

### (4) 工法普及に関する事業

会員会社のイベント情報を支部ホームページに掲載した。

### (5) 技術開発・普及等に関する事業

- コロナ禍が続くため、支部主催講習会を自粛した。  
⇒本部主催の「WEB 参加型」講習会への参加を支部会員へ案内した。

### (6) 講習会に関する事業

同上

## 3) 北陸支部

### (1) 活動概要

ツーバイフォー工法に関する調査研究と開発の推進及び各界各層での認知度の向上に努める本部の活動情報を共有し、一般ユーザー及び会員へのサービスの向上を図った。

### (2) 支部重点課題

- ① 地元の工務店、施工店、流通業者等に当協会加入の勧誘を行い、3社が当協会の理念に賛同をいただき会員数増加につながった。半面、事業内容変更や事業規模縮小による退会事業者が3社あった。
- ② 国産及び県産杉材の活用に向けて県内森林組合への会合に参加し、県産杉材を活用した構造材活用に向けて検討をスタート。ラミナー化やNLT化等も活用の幅を広げて次年度も引き続き検証を行っていく。
- ③ 職人及び設計等の建築業務に携わる労働者不足の解消に向けて実習制度の活用や設計業務のアウトソーシング化に向けて各業者様と検討タスクを立上げた。協会会員の一部設計業務をベトナムへ外注実現。実習生等の人材育成はコロナ禍の影響にて未実施。次年度に課題を持ち越し。

### (3) 総務・広報に関する事業

コロナ感染拡大防止の観点より、今年度の支部としての総務・広報に関する事業は来期以降に持ち越し。

### (4) 工法普及に関する事業

コロナ感染拡大防止の観点より、今年度の支部としての各会員会社に対して、工法普及に関する事業は来期以降に持ち越し。

#### (5) 技術開発・普及等に関する事業

コロナ感染拡大防止の観点より、今年度の支部としての各会員会社に対して、技術開発・普及等に関する事業は来期以降に持ち越し。

#### (6) 講習会に関する事業

コロナ感染拡大防止の観点より、今年度の支部としての各会員会社に対して、講習会に関する事業は来期以降に持ち越し。

#### (7) その他

コロナ感染拡大防止の観点より、今年度の支部としての各会員会社に対して、すべての事業は来期以降に持ち越し。

#### (8) まとめ

結論としてコロナ禍の状況を加味して、感染リスクがある事業はすべて延期となった。2020年末頃よりコロナウイルス感染者数が低下傾向になり、本来の活動を再開予定であったが第6波の影響により再度活動を延期。本来であればウッドショックの影響による市場の冷え込み等を考えて積極的に工法普及活動を実施すべきタイミングであった。次年度においては、北陸地区の技術者の育成も含めて本部主催の講習会を活用してWebで積極的な参加を支部会員にPRを行う。

またコロナ禍で動けなかった期間を取り戻すため、具体的な技術交流会や昨年より課題としてあった外国人労働者の活用等、会員会社の協力を得てベトナムでの事業展開を視察し、人材育成とその活用事例を学び、会員会社の現業に生かす一助となるべく海外研修（ベトナム研修）を来期実施したい。

### 4) 静岡県支部

#### (1) 活動概要

支部運営方針の工法普及と認知向上及び施工技術向上支援については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から取り組むことができなかった。会員会社への訪問により情報交換及び連携強化は図ることができた。

#### (2) 重点課題

工法施工技術向上、技術者育成と人材確保はコロナ禍で取り組むことができなかった。

会員会社と静岡県支部の在り方の検討の結果、東海支部統合が決定した。

#### (3) 総務・広報に関する事業

① 支部総会：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催とし、主たる事案である東海支部との統合について決議した。

② 幹事会（中止）

③ 定例会：2022年3月14日、東海支部へ移行する会員と日本平ホテルにて開催した。新規入会会員なし、退会会員は2社となった。

#### (4) 工法普及に関する事業

現場代理人の施工技術に関する講習会、非住宅施設見学勉強会、産学交流・建て方実習はコロナ禍で中止した。

#### (5) 技術開発・普及等に関する事業

支部会員のパネル製作工場（3社）の視察会、建て方実習会はコロナ禍で中止した。

#### (6) 講習会に関する事業

ツーバイフォー建築基本セミナー、設計実務者講習会はコロナ禍で中止した。自主工事検査員登録講習会はオンライン受講とした。

### 5) 東海支部

#### (1) 活動概要

コロナ禍以降のニューノーマルに即した住宅ニーズを踏まえ、ツーバイフォー住宅の耐久性・省エネルギー性等の基本性能や品質の高さ、工期の短縮やコスト低減、リフォームのしやすさといった優位性をアピールし、会員会社の営業優位性の助勢に努めた。戸建て住宅にとどまらず、中高層・施設系建築等への進出を後押しするべく、ツーバイフォー工法が合理的で資産価値の高い工法であること、木の持つ優しさや温かみといった長所を情報発信した。木材という再生可能な循環資源利用を通じ、低炭素社会の構築、省エネ社会への貢献という役割があることを訴求した。

#### (2) 支部重点課題

- ① 新規に三種正会員1社の入会を得た。
- ② コロナ禍において、会員が十分にメリットを感じられるサービス提供はなかなかできなかった。
- ③ 同様に、新規のセミナーや情報交流会等イベントの企画も実現しなかった。

#### (3) 総務・広報に関する事業

- ① 2021年度支部定時社員総会、講演会(2021年5月24日)をオンラインとの併用にて開催した。新型コロナウイルス感染症の感染予防拡大防止の観点から、総会懇親会は中止とした。2022年新年賀詞交歓会は、愛知県下にまん延防止等重点措置が発出中だったため中止とした。第273回～第278回支部幹事会を開催した。
- ② 愛知ゆとりある住まい推進協議会等地域行政機関主催による各種会議への参画と事業協力を行った。
- ③ 愛知県産木材新用途施工実証調査を受託した。
- ④ 地域行政機関及び他団体の主催する講習会の開催等に関する情報伝達を行った。

#### (4) 工法普及に関する事業

- ① 枠組壁建築技能検定試験を受託したが、受検者の都合により開催は中止した。
- ② 「2021年度版住まいの税金ガイド」、「2021年度版相続税・贈与税の知識」、広報用DVD「ツーバイフォー工法のご案内」、パンフレット「ツーバイフォーガイドブック」、リーフレット「ツーバイフォーの基礎知識」を全会員に配布した。

#### (5) 講習会に関する事業

- ① 工法普及講習会として「ツーバイフォー工法基本セミナー」(2021年6月10日)を開催した。「ツーバイフォー工法設計施工基本講習会」(2021年10月21日)を開催した。
- ② 資格取得講習会として「検査員登録講習会」(2021年2月22日)を開催した。
- ③ 「大工育成講習会」(2021年7月24日、25日)を二日間にわたり開催した。「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」(2021年10月7日)、「設計実務者講習会IV」(2021年12月9日)を開催した。

### 6) 関西支部

#### (1) 活動概要

会員会社のさらなる技術力、施工力向上のため情報提供を活発に行うことで入会促進に繋げ、地方自治体・他団体の各種事業への参加などを通じツーバイフォー住宅の優位性を周知した。

#### (2) 支部重点課題

各委員会(需要開発委員会・会員活動委員会・技術委員会)の目標を明確化し、時代要求に即した情報を会員会社に提供する事で高品質高性能なツーバイフォー工法の普及に努めた。

#### (3) 総務・広報に関する事業

- ① リニューアルしたホームページの活用による情報提供
- ② 会員への書籍等の配布
- ③ 支部総会(2021年5月8日)、幹事会の運営(2021年10月5日、2022年3月24日)、合同委員会の開催(2022年2月10日)
- ④ 新型コロナウイルスワクチン職域接種に参加

#### (4) 工法普及に関する事業

- ① ものづくりマイスターによる学生向け工法の普及活動
- ② 枠組壁建築技能検定実技試験の受託(2021年8月31日)

#### (5) 技術開発・普及等に関する事業

「WOODRISE 2021 KYOTOに参加」(2021年10月15日～10月17日)

## (6) 講習会に関する事業

枠組壁建築技能検定試験に係る事前講習会の実施（2021年8月12日）

## 7) 広島県支部

### (1) 活動概要

2021年度も、高品質で高性能なツーバイフォー住宅を一層供給するよう取り組んだ。また、広島県支部の会員数の減少をくい止めるとともに新規会員の勧誘にも努めた。

### (2) 支部重点課題

会員会社の技術者の技術力の向上等を図るため、各種講習会を開催し会員の資質向上に努めた。

### (3) 総務・広報に関する事業

- ① 2021年度優秀フレーマー賞 広島県支部から1名受賞（2021年5月27日）
- ② 2021年度優秀施工者国土交通大臣顕彰広島県支部から1名受賞（2021年10月1日）
- ③ 新年互礼会（広島県住宅産業三団体協議会主催）を企画するも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止（2021年11月19日）
- ④ ひろしま住生活月間実行委員会運営委員会  
（2021年5月19日、8月6日、10月11日、2022年3月23日WEB会議）
- ⑤ ひろしま住生活月間実行委員会総会（2021年8月6日WEB会議）
- ⑥ 牛田住宅情報スクエア「アスタ」開設20周年を記念して実施した「夢の住まいづくりアイデア展」の受賞作品を中国新聞朝刊等で紹介（2021年10月2日）
- ⑦ 「WOODRISE 2021 KYOTO」に広島県支部から1名出席  
（2021年10月16～17日）

### (4) 工法普及に関する事業

「住まいの情報プラザ」開催の支援（2021年10月23～24日）  
住宅に関する情報提供、耐震模型・断熱模型の実演、木育VR体験等

### (5) 講習会に関する事業

- ① 検査員登録講習会（本部のWEB参加型）（2022年1月25日）受講者25名
- ② 本部、広島県、広島市等の講習会及び研修会等を会員に周知

### (6) その他

- ① 幹事会 2回開催（2021年10月26日、2022年3月11日）
- ② 定時総会（書面決議により同意を得る：2021年5月22日）
  - ・2020年度事業報告及び収支決算の承認
  - ・2021年度事業計画及び収支予算

- ・役員の選任
- ③ 忘年会開催中止を会員に連絡（2021年11月19日）  
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ④ 労働安全衛生に関する件
  - ・広島県建築安全安心マネジメント推進協議会（書面で承認）（2021年6月16日）
  - ・広島県低層住宅建築工事安全対策協議会に参画
- ⑤ すまいづくりに関する件
  - ・ひろしますまいづくり支援ネットワーク会議（WEB会議）（2021年5月19日）
  - ・広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会（2021年11月15日）
  - ・広島県「減らそう犯罪」推進会議（2021年11月30日）
  - ・広島すまいづくり連絡協議会（書面で承認）（2022年1月17日）
  - ・広島県木造住宅生産体制強化推進協議会（2021年10月29日）
- ⑥ 当広島県支部の事務室借上契約の変更（2021年10月1日）  
（当ビルディングの所有権が広島商工会議所から広島市へ移転したことに伴うもの）

## 8) 四国支部

### (1) 活動概要

2021年度も地域型住宅グリーン化事業に参加し、長寿命型住宅・高度省エネ型住宅・ゼロエネルギー型住宅併せて23棟の交付申請を行った。本年度は当初の配分額は少なかつたが、先着順方式での予算調整や補正予算枠での追加配分もあり、補助金額（交付予定）の合計は前年度より940万円多い3,070万円であった。

### (2) 支部会等

- ① 2021年度支部総会：2021年5月27日
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
  - ・オンライン役員会（Zoom）開催後、書面決議にて承認
- ② 2021年度地域型住宅グリーン化事業  
グループ「ツーバイフォー四国の家」説明会及び抽選会を  
2021年8月5日 Zoomにて開催

### (3) 講習会等に関する事業

枠組壁建築技能検定事前講習会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### (4) 総務・広報に関する事業

- ① 地域型住宅グリーン化事業への参加  
2021年度地域型住宅グリーン化事業の当グループ（グループ「ツーバイフォー四国の家」）の補助金申請状況は次の通りである。

長寿命型住宅（経験なし）	0 棟	0 万円
長寿命型住宅（経験あり）	7 棟	860 万円
長寿命型住宅（補正予算）	5 棟	630 万円
認定低炭素、性能向上住宅	2 棟	160 万円
ゼロ・エネルギー住宅	9 棟	1,420 万円
優良建築物型	0 棟	0 万円
合計	23 棟	3,070 万円

## ② ウェブサイトの運営

ウェブサイトの運営を従前どおり継続実施した。

## (5) 会員の推移

2021 年度は増減なく、一種正会員 16 社、二種正会員 3 社、三種正会員 6 社の合計 25 社となっている（準会員を除く）。

## 9) 九州支部

### (1) 活動概要

九州地区におけるツーバイフォー工法のさらなる認知向上を目指し、住宅のみならず施設系建築の実績を伸ばしてシェア拡大を図ると同時に、生産体制の確保と技術力向上のためのサービス提供を行い、ウィズコロナに備えニューノーマルに適応する組織運営方や業務推進方、並びに住宅設備等の関連情報について支部会員との共有を行った。

### (2) 支部重点課題

- ① 非住宅大規模ツーバイフォー建築物の工法の周知を図った。
- ② ホームページ等を通じウィズコロナによる生活変化に則した住宅の提案等さらなる会員間の情報共有を図った。

### (3) 総務・広報に関する事業

- ① 長引くコロナの影響で 6 社退会となったが、新規会員入会促進にて 3 社の入会を得た。
- ② 会員向け講習会等の費用補助はコロナの影響で講習会等を計画できなかった。

### (4) 工法普及に関する事業

- ① ツーバイフォー工法 基本セミナーを 2021 年 7 月 13 日に実施した。
- ② ツーバイフォー工法 設計施工講習会を計画したがコロナ感染再拡大により中止とした。

### (5) 技術開発・普及等に関する事業

ニューノーマルを意識した WEB 講習会等の検討を行った。

**(6) 講習会に関する事業**

- ① 耐火建築物設計者講習会を 2021 年 11 月 11 日に実施した。
- ② 検査員登録講習会を 2021 年 1 月 11 日に実施した。

**(7) その他**

施設系大型木造建築物見学会（木造マンション）の実施検討を行った。  
（開催はコロナ感染再拡大により延期とした）

以上